



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年7月30日

上場会社名 株式会社コーセー 上場取引所 東
 コード番号 4922 URL <http://www.kose.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 一俊 (TEL) 03-3273-1511
 問合せ先責任者 (役職名) IR課長 (氏名) 中田 仁典 配当支払開始予定日 ー
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	40,717	0.3	1,888	287.1	1,812	374.8	215	—
22年3月期第1四半期	40,601	△3.0	487	△72.2	381	△83.0	△575	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	3.71	—
22年3月期第1四半期	△9.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	166,421	106,989	60.4	1,732.35
22年3月期	167,395	107,538	60.6	1,746.59

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 100,558百万円 22年3月期 101,385百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
23年3月期	—				
23年3月期(予想)		20.00	—	20.00	40.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	88,300	3.6	3,900	38.2	4,000	54.5	1,700	129.4	29.29
通期	178,400	3.4	11,000	8.6	11,100	2.5	5,900	14.5	101.64

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 — 社（社名） — 除外 — 社（社名） —

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	60,592,541株	22年3月期	60,592,541株
23年3月期1Q	2,545,061株	22年3月期	2,545,000株
23年3月期1Q	58,047,514株	22年3月期1Q	58,047,693株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する説明

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（2）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

第1四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）

事業区分	前第1四半期		当第1四半期		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
化粧品	29,472	72.6	30,178	74.1	706	2.4
コスメタリー	10,748	26.5	10,141	24.9	△606	△5.6
その他	381	0.9	397	1.0	16	4.3
売上高計	40,601	100.0	40,717	100.0	115	0.3

区分	前第1四半期		当第1四半期		前年同期比較	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益	487	1.2	1,888	4.6	1,400	287.1
経常利益	381	0.9	1,812	4.5	1,430	374.8
四半期純利益	△575	△1.4	215	0.5	791	—

当第1四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）における当社グループの業績につきましては、コスメタリー事業は前年を下回りましたが、化粧品事業が伸長したため、売上高は40,717百万円（前年同期比0.3%増）となりました。なお、海外売上高の為替の影響を除くと前年同期比0.2%増となります。

利益につきましては、販売費及び一般管理費が減少したため、営業利益は1,888百万円（同287.1%増）、経常利益は1,812百万円（同374.8%増）となりました。また、資産除去債務に関連する特別損失を計上したこともあり、四半期純利益は215百万円（前年同期は575百万円の損失）となりました。

化粧品事業につきましては、国内では、個人消費の低迷が続く中、化粧品専門店や百貨店で扱う高級品の育成に努めたほか、効果的な広告宣伝・販売促進活動を展開しました。海外においては、アジアを中心に販売強化に努めました。その結果、当事業の売上高は30,178百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益は3,550百万円（同58.5%増）となりました。

コスメタリー事業につきましては、積極的な広告宣伝・販売促進活動を実施しましたが、前年同期における新製品投入の反動や天候の影響もあり、当事業の売上高は10,141百万円（同5.6%減）となりました。また、広告宣伝費を先行投資したこともあり、営業損失は843百万円となりました。

その他の事業につきましては、相手先ブランド製品に関する受注生産の受託高増加等の結果、売上高は397百万円（同4.3%増）、営業利益は85百万円（同30.9%増）となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年4月30日に発表しました連結業績予想は変更ありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、営業循環過程から外れた滞留又は処分見込等の棚卸資産で前連結会計年度末において帳簿価額を処分見込価額まで切り下げているものについては、前連結会計年度末以降に著しい変化がないと認められる限り、前連結会計年度末における連結貸借対照表価額で計上する方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、親会社及び一部の連結子会社において、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるものについては、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

① 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ5百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は290百万円減少しております。

② 企業結合に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

2. 表示方法の変更

（四半期連結損益計算書）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,047	22,505
受取手形及び売掛金	21,520	23,720
有価証券	20,826	23,987
商品及び製品	12,738	12,764
仕掛品	1,724	1,299
原材料及び貯蔵品	10,026	8,653
繰延税金資産	4,973	4,387
その他	3,889	2,874
貸倒引当金	△306	△266
流動資産合計	99,441	99,925
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,651	31,435
減価償却累計額	△18,797	△18,495
建物及び構築物(純額)	12,854	12,940
機械装置及び運搬具	13,319	13,326
減価償却累計額	△11,499	△11,524
機械装置及び運搬具(純額)	1,820	1,802
工具、器具及び備品	28,449	27,999
減価償却累計額	△23,273	△22,888
工具、器具及び備品(純額)	5,175	5,111
土地	17,228	17,220
リース資産	296	249
減価償却累計額	△70	△55
リース資産(純額)	226	194
建設仮勘定	60	68
有形固定資産合計	37,365	37,337
無形固定資産		
ソフトウェア	1,721	1,825
その他	1,986	2,059
無形固定資産合計	3,707	3,885
投資その他の資産		
投資有価証券	10,845	10,505
繰延税金資産	11,994	12,453
その他	3,270	3,499
貸倒引当金	△203	△211
投資その他の資産合計	25,907	26,247
固定資産合計	66,979	67,470
資産合計	166,421	167,395

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,169	12,604
短期借入金	4,328	4,294
リース債務	68	57
未払金	5,906	6,390
未払費用	3,875	6,992
未払法人税等	587	1,609
未払消費税等	667	733
返品調整引当金	1,740	2,034
その他	2,342	926
流動負債合計	36,686	35,643
固定負債		
リース債務	173	150
退職給付引当金	19,672	20,034
役員退職慰労引当金	2,624	3,998
その他	273	29
固定負債合計	22,744	24,213
負債合計	59,431	59,857
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,848	4,848
資本剰余金	6,390	6,390
利益剰余金	96,865	97,810
自己株式	△7,229	△7,229
株主資本合計	100,875	101,820
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△91	45
為替換算調整勘定	△224	△480
評価・換算差額等合計	△316	△435
少数株主持分	6,430	6,153
純資産合計	106,989	107,538
負債純資産合計	166,421	167,395

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	40,601	40,717
売上原価	10,551	10,661
売上総利益	30,050	30,055
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	2,557	2,348
販売促進費	8,527	7,679
運賃及び荷造費	1,343	1,334
給料及び手当	9,311	9,341
退職給付費用	407	384
法定福利費	1,212	1,255
減価償却費	640	583
その他	5,562	5,239
販売費及び一般管理費合計	29,562	28,167
営業利益	487	1,888
営業外収益		
受取利息	71	54
受取配当金	41	62
雑収入	67	76
営業外収益合計	179	193
営業外費用		
支払利息	15	9
為替差損	266	254
雑損失	3	4
営業外費用合計	285	269
経常利益	381	1,812
特別利益		
固定資産売却益	0	0
貸倒引当金戻入額	8	—
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	8	0
特別損失		
固定資産処分損	29	88
投資有価証券売却損	0	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	284
その他	—	45
特別損失合計	29	418
税金等調整前四半期純利益	361	1,394
法人税、住民税及び事業税	945	912
法人税等調整額	△273	△33
法人税等合計	672	878
少数株主損益調整前四半期純利益	—	516
少数株主利益	265	300
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△575	215

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	化粧品事業 (百万円)	コスメタリー 事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	29,472	10,748	381	40,601	—	40,601
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	595	595	(595)	—
計	29,472	10,748	976	41,196	(595)	40,601
営業利益又は営業損失(△)	2,239	△1,030	65	1,274	(786)	487

(注) 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品の名称

事業区分は、内部組織管理上採用している区分によっております。

(化粧品事業) 主要製品：コーセー・ポーテドコーセー・コスメデコルテ・プレディア・
インフィニティ・ジルスチュアート・クリエ・アルビオン・
製商品輸出・海外生産品

(コスメタリー事業) 主要製品：ファシオ・エルシア・サロンスタイル・ソフティモ・
スティーブンノルコレクション・リンメル

(その他の事業) 主要製品：アメニティ製品・不動産賃貸・原材料輸出

b. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

d. セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、お客様の多様なニーズに適合した製品を市場に提供するため、当社グループで企画・開発した製品を各種ブランドにより展開しており、各ブランドごとに国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を行っております。

したがって、当社は各ブランドを基礎とした事業別セグメントから構成されており、「化粧品事業」および「コスメタリー事業」の2つを報告セグメントとしております。

「化粧品事業」に属する主要製品には、コーセー・ポーテッドコーセー・コスメデコルテ・プレディア・インフィニティ・ジルスチュアート・クリエ・アルピオン等が、「コスメタリー事業」に属する主要製品には、ファシオ・エルシア・サロンスタイル・ソフティモ・スティーブンノルコレクション・リンメル・アディダス等があります。

(2) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	30,178	10,141	40,319	397	40,717	—	40,717
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	0	213	213	△213	—
計	30,178	10,141	40,319	611	40,931	△213	40,717
セグメント利益又は損失(△)	3,550	△843	2,706	85	2,792	△903	1,888

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

セグメント間取引消去	81百万円
各報告セグメントに配分していない全社費用	822百万円

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

(4) 地域に関する売上高情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年6月30日）

（単位：百万円）

日本	アジア	その他	計
36,577	3,995	144	40,717

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。